

NEWSLETTER

No.88

6 January 2025

- ・2024年地理学教室の行事記録 1
- ・第21回地理ワークショップの開催 2
- ・2024年度地理実習の記録 3
- ・卒業論文公開口頭試験について 10
- ・2024年度卒業論文公開口頭試験日程 11
- ・国士舘大学地理学会費の納入について 13
- ・地理学教室が発信する各種情報のQRコード 13

【2024年 地理学教室の行事記録】

- 2月 7日～ 9日 卒業論文公開口頭試験 (10号館 10212 教室)
- 3月 28日～30日 在学生ガイダンス
- 4月 3日～ 6日 新入生オリエンテーション
- 5月 18日 地理学野外実習 D (小山コース: 筑波山)
- 5月 22日～23日 地理学野外実習 A (1年生実習: 日帰り 2日: 専任教員 7名) 川崎市麻生区黒川地区
- 5月 25日 地理学野外実習 D (桐越コース: 築地, 月島)
- 6月 1日 地理学野外実習 D (磯谷コース: 港区, 渋谷区)
- 6月 8日 地理学野外実習 D (内田コース: 千葉県野田市, 埼玉県春日部市, さいたま市岩槻区)
- 6月 15日 国士舘大学地理学会 総会・講演会・懇親会
<総 会>MCH 1階大教室 (講演会も同)
<講演会>小山拓志先生: 寒冷地の微地形研究からみえてきたこと: 九州山岳地, 南アルプス, そして南極
<懇親会>世田谷校舎 1号館 1階学生ホール
- 6月 22日 地理学野外実習 D (加藤コース: 品川区とその周辺)
- 7月 20日 第21回地理ワークショップ 「本当に危機? 中東とアラブ社会のいま」
(講師: 佐藤都喜子先生(名古屋外国語大), 長谷川均先生, 加藤幸治先生)
- 7月 26日 卒業論文公開口頭試験 (9月卒業向け; 10号館 10213 教室)
- 9月 3日～ 7日 測量実習 3 (集中: 村上真幸先生)
- 9月 9日～10日 国士舘大学地理学会夏季巡検「中部山岳地域の亜高山帯・高山帯における地形と植生の観察: 上高地・乗鞍岳」 (参加 9名, 引率教員: 佐々木明彦先生, 小山拓志先生)
- 9月 21日 地理学野外実習 D (佐々木コース: 板橋区, 北区)
- 10月 2日～ 3日 地理学野外実習 B (2年生実習: 1泊 2日: 専任教員 6名)
内 田: 茨城県水戸市, 太子町, 大洗町, ひたちなか市 岡 島: 長野県松本市
磯 谷: 山梨県山中湖村とその周辺 加 藤: 東京都武蔵野市
佐々木: 群馬県みなかみ町 小 山: 東京都あきる野市と三頭山
- 11月 5日～ 8日 地理学野外実習 C (3年生実習: 3泊 4日: 専任教員 7名)
内 田: 札幌市とその周辺 岡 島: 名古屋市とその周辺
磯 谷: 大分県豊後大野市とその周辺 加 藤: 長野県塩尻市・松本市とその周辺
佐々木: 長野県大町市とその周辺 小 山: 熊本県阿蘇市とその周辺
桐 越: 長野県松本市とその周辺
- 12月 21日 国士舘大学地理学会 研究発表会・講演会・懇親会
<研究発表会>橋本 桃/田村碧惟・渡辺寛太・坂本恋奈/片岡航太/大河内福之介
/井口鼓太/森崎彩乃/小幡航成・高田みつき・松田桜太郎
(10号館 10212 教室; 講演会も同)
<講演会>高野繁昭 先生 (本学非常勤講師) 「地理学を目指した理由, それから」
<懇親会>世田谷校舎 1号館 1階学生ホール
- 12月 26日 地理学野外実習 D (岡島コース: 東京都世田谷区内)

【第21回 地理ワークショップの開催】

「中東は危険？ 中東とアラブ社会のいま」 2024年7月20日（土） 9:50～16:30

9:50-10:00 開会の言葉・趣旨説明・・・・・・・・・・・・・・・・桐越 仁美（国土館大）
10:00-11:00 講演1「熱く多様な自然」・・・・・・・・・・・・・・・・長谷川 均（国土館大）
11:10-12:10 講演2「日本と中東:経済地理的にみる」・・・・・・・・加藤 幸治（国土館大）
12:10-13:10 昼食・休憩
13:10-13:30 午前中のまとめ
13:30-14:30 講演3「アラブ社会と伝統社会に生きるアラブの女性たち」・佐藤都喜子（名古屋外国語大）
14:40-15:40 講演4「シリア難民の多様な姿」・・・・・・・・・・・・・・・・佐藤都喜子（名古屋外国語大）
15:45-16:20 質疑・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・桐越 仁美（国土館大）
16:20-16:30 まとめ・閉会の言葉・・・・・・・・・・・・・・・・桐越 仁美（国土館大）

国土館大学地理学教室では、大学の研究成果や教育の成果を社会・教育界へ還元するという主旨で、2001年度より「地理ワークショップ」を開催しています。今年度は7月20日（土）に第21回地理ワークショップをMCH 5階 第1会議室において開催しました。

テーマは中東・アラブの地誌としました。中東は戦争やテロなどと結びつけて語られることが多く、「危険な地域である」という認識やイメージが強くなっています。これは日本ではそうした中東の一面のみが報道され、中東の自然や人々の暮らし、文化について触れたり考えたりする機会が少ないからなのではないかと考えられます。そこで、中東で研究を行ってきた研究者に現代の中東の実態について語ってもらい、中東の多様性や人々の生活の実態を知る機会にしたいと考えて本ワークショップを企画しました。

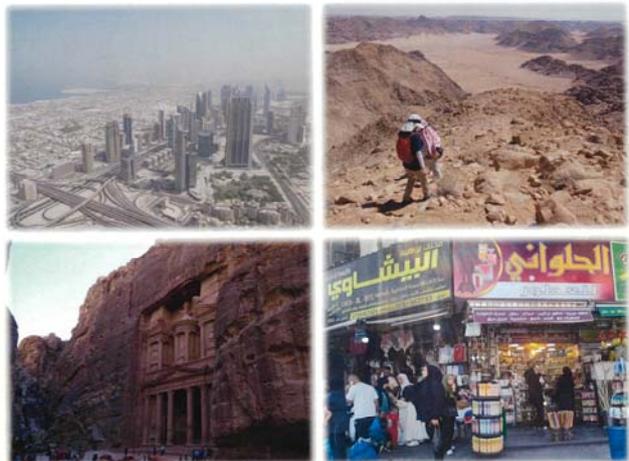
参加者は30名で、首都圏のみならず東北からの参加者もおりました。また、テーマの希少性からか、教科書出版2社からの参加もありました。はじめに昨年度末に本学を定年退職された長谷川 均先生が中東の自然環境の成り立ちについての講義を行いました。中東の自然環境を背景とする災害の発生や特徴的な自然環境に人々の生活が関わって生起する環境問題にも踏み込んだ内容となりました。続いて、日本と中東との関係について加藤幸治先生が講義しました。日本の産業の生命線ともいえる石油の確保を第二次世界大戦以後は中東に強く依存していることに言及し、日本と中東の結びつきを経済地理学的な視点から捉えると理解しやすいことを伝えました。

午後は中東ヨルダンに11年間居住した経験をもつ名古屋外国語大学の佐藤都喜子先生が登壇しました。アラブ社会が宗教的にも政治的にも生活様式的にも実に多様に富むことをはじめに講義しました。また、イスラームによりムスレムの女性は虐げられているのではないかというイメージに対し、ヨルダンにおける女性の教育環境の変化や社会進出の増加など女性が活躍する社会に変化してきていることを述べました。後半は、ヨルダンに流入するシリア難民の実態に触れ、多様な文化の交流によるヨルダン社会の変容に言及しました。講義をふまえた質疑・討論も予定時間いっぱい活発に行われました。充実したワークショップになったのではないかと思います。

（佐々木 明彦）

第21回 地理ワークショップ

本当に危険？中東とアラブ社会のいま



2024年7月20日（土）

国土館大学文学部史学地理学科 地理・環境コース

Department of Geography and Environmental Studies, Kokushikan University

【2024 年度地理実習の記録】

地理学野外実習 A : 5 月 22 日 (水) ・ 23 日 (木) に日帰りにて実施

◎ 内田・岡島・磯谷・加藤・佐々木・小山・桐越

実 施 地 : 川崎市麻生区黒川地区・多摩キャンパス

参加学生数 : 78 名 (男子 68 名, 女子 10 名)

テ ー マ : 丘陵地の自然環境と人間生活

目 的 : 多摩地区における丘陵地の土地利用に関する調査を行い, 地形と土地利用の関係, 都市化や宅地化の進行の特徴やその要因等について考察することを通じて, 地理調査や地理的思考法の基本を体得する.

課 題 : 図表を含めて 400 字詰め原稿 15 枚以上相当のレポート.

提出日時・・・7 月 2 日 (火)「地理学入門ゼミ」講義時間中に提出.



写真 1 初日 : 小田急線黒川駅前に集合



写真 2 保全緑地を観察



写真 3 広報課の人が取材に訪れました



写真 4 観察内容をしっかり記録



写真 5 初日・2 日目ともまとめのミーティングは多摩キャンパスの教室にて.

地理学野外実習B（2年生対象）：10月1日（水）～2日（木）に1泊2日にて実施

◎ 内田

実施地：茨城県水戸市、太子町、大洗町、ひたちなか市
参加学生数：8名（男子5名，女子3名）

テーマ：風景の鑑賞法と観光地の場所イメージの解説
内容：①茨城県の代表的な観光コンテンツを風景論の視点から記述し，その地域性にに基づき比較する。
②地元の自治体や観光業者が，その場所のイメージをどのように利用しているかを，記号論的な観点から考察する。

課題：レポート1：茨城県の代表的な観光コンテンツの風景の特徴とその地域性について／レポート2：観光地の記号としての「観光イメージ(観光コンテンツ)」



内田班：水戸偕楽園 冬枯れの梅林をバックに

◎ 岡島

実施地：長野県松本市
参加学生数：8名（男子5名，女子3名）

テーマ：近世城下町松本の近現代における変遷
内容：松本の旧城下町を構成した地区での観察調査および住民への聞き取りによって，歴史的な町の現状と変遷過程を学習する。また松本市博物館での見学学習を行い，歴史的町並みの調査結果に基づく地図を作成し，考察する。

課題：標記のテーマについて所定の分量のレポートを作成する。なお夏休みに事前学習を行っている。



岡島班：宿舎前での集合写真

◎ 磯谷

実施地：山梨県山中湖村平野地区
参加学生数：11名（男子9名，女子2名）

テーマ：夏緑広葉樹林帯の植生と野生動物
内容：山中湖村平野地区の低地から山地部にかけての地域でみられる植生や野生動物の生態地理について踏査した。観察されたおもな植生は，ミズナラ二次林，ススキ草原，カラマツ植林などである。野生のシカが目撃されたほか，シカ不嗜好植物の繁茂も観察された。また，リゾート地域の植生景観という視点からの観察も行った。

課題：植生図の作成とその凡例についての記述を中心に，図表を含めてA4版20枚程度のレポートとしてとりまとめる。



磯谷班：山梨・神奈川県境の尾根に広がるミズナラ二次林にて

◎ 加藤

実施地：東京都武蔵野市
参加学生数：14名（男子11名，女子3名）

テーマ：東京都武蔵野市におけるコンビニエンスストアの立地展開
内容：対象地域におけるコンビニエンスストアの立地について，過去のデータのデータと比較しながら，その変遷を把握し，立地の要因を考察する。

課題：調査結果に関する図表を作成し，調査結果にもとづいた内容についてレポートする。



加藤班：吉祥寺駅での集合写真

◎ 佐々木

実施地：群馬県みなかみ町土合地区（湯檜曾川，天神平）

参加学生数：16名（男子15名，女子1名）

テーマ：多雪山地における地形と植生の観察

内容：みなかみ町土合地区の湯檜曾川上流部において多雪地域の山地に典型的にみられる雪崩地形と植生景観を観察した。天神平では俎倉（まないたぐら）の氷食地形や上越国境稜線の化石周氷河性平滑斜面を遠望してその形成過程を考えた。また、偽高山帯の景観を観察し、その成立の背景を考えた。湯檜曾川支流の西黒沢では、2020年に発生した土石流の堆積物について、その堆積構造を観察し、礫の形状や大きさを計測して、土石流堆積物の特徴を明らかにした。

課題：調査結果とそれらにもとづく考察をA4版20枚程度のレポートにまとめる。



佐々木班：天神平で谷川岳を背景に記念撮影

◎ 小山

実施地：東京都あきる野市，三頭山

参加学生数：13名（男子13名）

テーマ：あきる野市および三頭山の地形・地質と自然災害を読み解く

内容：①東京都あきる野市近辺の段丘を中心とした地形の成り立ちを学びながら、地形と自然災害との関連について考察する。②三頭山における地形・地質および植生分布を観察しながら、関東山地の成り立ちについて考察する。

課題：調査結果（簡易測量やスケッチなど）と事前課題（あきる野市における土地利用図と段丘区分図の作成）に基づく考察を、A4版20枚程度のレポートにまとめる。



小山班：三頭大滝にて

地理学野外実習C（3年生対象）：11月5日（火）～8日（金）に3泊4日にて実施

◎ 内田

実施地：札幌市とその周辺

参加学生数：6名（男子5名，女子1名）

テーマ：学生各自でテーマを設定し，現地調査を行う。

内容：「観光地としての小樽と札幌のイメージについて」「利用者によるエスコンフィールド北海道と札幌ドームのイメージの比較」「『日本三大がっかり』のイメージ形成要因—札幌市時計台を事例に」「札幌市民の考える『サッポロビール』のブランドイメージ」「夕張市における夕張市のイメージと定住意識」「北海道における観光地の知名度が目的地選好に与える影響」

課題：各自設定したテーマにしたがって，現地で得たデータをもとに分析・考察を行う。



内田ゼミ：初雪の降った札幌すすきので

◎ 岡島

実施地：名古屋市および周辺地域
参加学生数：7名（男子6名，女子1名）
テーマ：交通地理学・都市地理学に関する地域調査
内容例：名古屋市有松における町並み保存，中京圏諸都市の中心駅の利用と実態，リニモの地域に与える影響，愛知環状鉄道と鉄道路線の延伸，観光地周辺の交通手段と観光客の周遊ルート形成，人口減少期における鉄軌道廃止と沿線地域，名古屋市基幹バス交通における利便性と利用行動。
課題：各自のテーマについてのレポート作成。



岡島ゼミ：夕食風景

◎ 磯谷

実施地：大分県豊後高田市とその周辺
参加学生数：4名（男子3名，女子1名）
テーマ：国東半島北東部の生態地理
内容例：大分県豊後高田市の真玉川流域付近でみられる動植物の生態地理について，各自が事前にテーマを設定して調査を行った。具体的に選ばれたテーマは，「生垣を主体とする植生景観の樹種構成とその分布」，「シカの生息状況および獣害とその分布」および「水生動物群集の分布と環境条件」であった。
課題：図表を含めてA4版30枚程度のレポートとしてとりまとめる。



磯谷ゼミ：真玉川中流部の黒土不動尊の前にて

◎ 加藤

実施地：長野県塩尻市
参加学生数：4名（男子4名）
テーマ：各自が設定したテーマにもとづいた現地調査・地域調査を行う。
内容例：塩尻市における理容室の立地展開，塩尻市大門商店街の現状と課題，塩尻市における宿泊施設の立地とその集積地間の差違
課題：各自のテーマについて，『卒業論文の手引き』にもとづき，レポートをまとめる。



加藤ゼミ：宿泊先にて最終日の出発前

◎ 佐々木

実施地：長野県大町市とその周辺
参加学生数：14名（男子10名，女子4名）
テーマ：籠川の河谷で発生する冷気流，大町市街地におけるヒートアイランド，木崎湖周辺における湖陸風，局地風の南風の吹走，神城盆地における冷気湖形成と霧の発生，稲尾集落背後の大規模地すべり地形，鹿島川上流の氷河地形
内容例：下記参照
課題：調査結果とそれにもとづく考察をA4版30枚程度のレポートにまとめる。



佐々木ゼミ：工事現場に現れた露頭で堆積物の調査をする様子

◎ 小山

- 実施地：熊本県阿蘇市とその周辺
参加学生数：11名（男子9名，女子2名）
テーマ：学生自らが設定したテーマに基づいて班を構成し，それぞれ現地調査を行う。
- 内容：①往生岳山頂付近におけるアースハンモックの動態に関する研究（山の地形班），②阿蘇カルデラ本塚火山における地形・地質に関する研究（火山地形班），③阿蘇カルデラにおける湧水と河川の水質・水温調査（水文班），④平成24年九州北部豪雨の浸水区域と地形との関係（災害班）
- 課題：調査結果に基づく考察を，A4版30枚程度のレポートにまとめる。



小山ゼミ：宿泊した旅館の前で

◎ 桐越

- 実施地：長野県松本市とその周辺
参加学生数：10名（男子6名，女子4名）
テーマ：各自が設定したテーマにもとづいた現地調査・地域調査を行う。
- 内容例：松本市一番街商店街の現状，松本市への来訪観光客の行動，松本市とその周辺におけるギター産業の現状，松本ギター祭りがギター産業に与える影響，松本市のU・Iターン者の実態，松本市における木工家具産業の生産構造と地産材活用 他
- 課題：各自のテーマについて，『卒業論文の手引き』にもとづき，レポートをまとめる。



桐越ゼミ：夜はホテルのロビーでミーティング

□ 地理学野外実習Cにおける具体的な調査例

佐々木ゼミの長野県大町市とその周辺における調査

佐々木ゼミでは，冷気流観測班は竈川の河谷において，気温の定点観測を5地点，風向風速の定点観測を2地点でそれぞれ実施するとともに，それらの中間地点で夜間および早朝に風向風速と気温を観測した．気圧配置の条件が悪く，冷気流は発生しなかったが，山谷風の発生を捉えることができた．

ヒートアイランド調査班は，大町市内を自転車及び自動車移動しながら気温観測を実施し，市街地において夜間にヒートアイランドが出現することを確かめた．大町盆地東側の丘陵からの東寄りの風が吹くとヒートアイランドが解消されることも明らかとなった．

湖陸風・局地風観測班は，湖陸風の発生を捉えるために木崎湖の南北の湖岸2地点に気温計と風向風速計を設置して定点観測を行うとともに，湖岸3ヶ所において日没後や午前中に気温・湿度と風向風速の観測を実施した．また局地風の南風を捉えるために，市内の3ヶ所において日中に風向風速と気温・湿度を観測した．しかしながら，調査期間が弱い冬型の気圧配置であったことで，湖陸風や南風の吹走は確認できなかった．

また，霧観測班は，白馬村の神城盆地において，盆地の東斜面の標高100mおきに温湿度計を設置して冷気湖形成を観測するとともに，未明からの目視観察によって霧の発生状況を観察した．放射冷却が強く生じた日には冷気湖が形成されたものの，盆地底の大気の気温は露点には至らず，霧は発生しなかった．

地すべり地形班は，木崎湖東の稲尾集落背後の犀川山地に分布する大規模地すべり地形を対象に，空中写真判読と現地の微地形調査を行うとともに，地表変動を記録していると考えられる樹木の変形程度を測量し，地すべりの活動度を明らかにした．鹿島川流域では，鹿島川河岸と大冷沢の段丘地形を調査し，これらのほとんどが氷期に形成されたアウトウォッシュ段丘であることを明らかにした．

地理学野外実習D（2年生以上対象）：コースによって実施日は異なるため実施日順に紹介します。

◎ 小山

実施日：2024年5月18日（土）

実施地：茨城県筑波山

参加学生数：17名（男子17名）

テーマ：筑波山の成り立ち－巨岩・奇岩の孤立峰から関東平野を見下ろす

内容：筑波山（877m）の地形・地質および植生を中心に観察しながら、実際に標高差約600mを登山した。具体的な観察項目は、筑波山の中腹以下に分布する花崗岩と山麓緩斜面堆積物（土石流堆積物）、花崗岩のマサ化、山頂部付近の斑レイ岩と節理、ブナ林、筑波石、湧水など。

課題：現地で観察した内容と教員の解説に基づいて、各自の考察をA4版10枚程度のレポートにまとめる。



小山コース：斑レイ岩の奇岩を観察しながらブナが生育する樹林帯を歩く様子

◎ 桐越

実施日：2024年5月25日（土）

実施地：東京都中央区 築地駅周辺地域

参加学生数：14名（男子5名，女子9名）

テーマ：GPSを用いたトラックデータの取得方法とGPSデータを地図上に表示させる方法を知る

内容：東京都中央区、築地周辺地域においてGPSを用いた面積測定をおこなった。その後、外国人居留地跡や海軍発祥の地などをグループごとに回りGPSにトラックデータを記録した。最後に聖路加ガーデンにて、築地駅周辺地域の歴史の変遷に関する解説をおこなった。GPSのデータから、各班のGPSの記録を使ってレポートを作成した。

課題：GPSの計測結果をGoogle Earth上に示すとともに、調査内容にもとづいたレポートをまとめる。



桐越コース：実習終了後の集合写真

◎ 磯谷

実施日：2024年6月1日（土）

実施地：国立科学博物館附属自然教育園（東京都港区）
明治神宮「御苑」（東京都渋谷区）

参加学生数：19名（男子11名，女子8名）

テーマ：都心に残された武蔵野台地の地形と植生

内容：都心でありながら武蔵野台地（下末吉面淀橋台）の原地形が残されている白金の自然教育園と明治神宮「御苑」にて、地形と植生の観察を行った。午前中は自然教育園にて、自然性の高い森林植生や谷津に広がる湿地の草原などを観察した。その後、目黒駅から原宿駅までの山の手線による移動時間を含めた昼休みの後、明治神宮前で集合し、「御苑」での観察を行った。御苑では、かつての武蔵野の雑木林の名残の森や、かつては水田だった谷津に広がる菖蒲園の様子などを観察した。

課題：上記の内容を踏まえつつ、参加者各自の視点を重視したレポートを作成する。



磯谷コース：港区白金の自然教育園にて、台地面上で鬱蒼と茂る森林を観察中。

◎ 内田

実施日：2024年6月8日（土）
実施地：野田市、春日部市、さいたま市岩槻区
参加学生数：11名（男子8名 女子3名）
テーマ：風景の鑑賞法と観光地のイメージの解説
内容：江戸から30km圏内にあった歴史都市である野田・粕壁・岩槻を巡って、歴史遺跡を訪ねるとともに、現在の都市環境と関連する観光現象の実態についても観察・調査する。
課題：「野田・春日部・岩槻の風景の特徴について」と「野田・春日部・岩槻の「観光イメージ」について」の2本のレポートをまとめる。



内田コース：野田市 キョーマン本社工場で

◎ 加藤

実施日：2024年6月22日（土）
実施地：東京都品川区とその周辺
参加学生数：8名（男子6名、女子2名）
テーマ：工業地区としての品川とその周辺—歴史と現在—
内容：テーマについて理解するエクスカッション（現地見学）を行う。訪問先は以下のようなところ。光学通り／大井町駅付近／広町工業団地・工場アパート／大崎シンクパーク（ソニー大崎工場跡）／旧東海道／品川神社・富士塚／品川インターシティ／高輪・白金台地区
課題：エクスカッションで学んだこと・興味あったことについて、レポートをまとめる。



加藤コース：集合写真の撮影直前（隙を狙って）

◎ 佐々木

実施日：2024年9月21日（土）
実施地：東京都板橋区・北区
参加学生数：19名（男子16名、女子3名）
テーマ：武蔵野台地本郷台とその周辺の地形の観察
内容：石神井川をめぐる地形の配置を、実際に歩いて体感しつつ、東京層の露頭や飛鳥山博物館における沖積層の剥ぎ取り断面を観察して、この地域の地形の発達について考察した。また、JR板橋駅周辺では土地の起伏とハザードマップの想定浸水水位との対応を確認し、わずかな起伏の差が内水氾濫時の浸水水位に影響しうることを理解した。
課題：調査結果とそれにもとづく考察をA4用紙5枚程度のレポートにまとめる。



佐々木コース：石神井川の河岸で東京層の露頭を観察している様子

◎ 岡島

実施日：2024年12月26日（木）
実施地：世田谷区内
参加学生数：9名（男子7名、女子2名）
テーマ：世田谷の歴史地理
内容：テーマについて理解する巡検を行う。訪問先は次の通り。三軒茶屋道標・キャロットタワー展望台、旧世田谷代官屋敷・世田谷区郷土資料館、世田谷城址公園・豪徳寺、成城学園住宅地、次大夫堀公園・民家園、野毛大塚古墳。
課題：標記のテーマについて所定の分量のレポートを作成する。



岡島コース：旧世田谷代官屋敷前で

【卒業論文公開口頭試験について】

地理学教室では、卒業論文の審査が公平になされるよう各々の論文を2名の教員が閲読し、さらに公開口頭試験の結果を加味して可否を決めています。今年度も下記の通り、卒業論文の口頭試験が行われ、試験の結果から卒論の評点が決まります。試験は、持ち時間9分の口頭発表とそれに続く質疑応答です。発表者はあらかじめ卒論の要旨、図表などをまとめたレジュメを用意し、出席者に配布できるよう準備してください。また、質疑応答の際に必要な卒業論文のコピー、その他卒論作成に使用した資料や参考文献のコピーなどは、必ず持参してください（公開口頭試験の際に提示を求められる場合があります）。これらは卒論の可否が決まるまで処分しないこと。

就職が決まり、試験当日に社内研修などが予定されている4年生は、就職予定先に事情を説明し、研修欠席の手続きを済ませておくようにしてください。

なお評価の結果、優秀な卒論2編は、全国地理学専攻卒論発表大会（2025年3月上旬に開催）で発表してもらいます。発表者は2月8日中に決定し、すぐに通知する予定です。また、優秀な卒業は修正のうえ国士舘大学地理学報告に掲載してもらう予定です。これも2月8日中に決定し、連絡します。

日 時：2025年2月6日（木）11:00～、7日（金）10:00～、8日（土）10:00～
場 所：世田谷校舎 10号館 2階 10212 教室

注意事項（4年生はよく読んでおくこと）：

- ※ 試験時間は、1人18分（発表9分、質疑応答9分）です。発表者は発表用原稿を必ず用意し、あらかじめ発表の練習をしておくこと。発表の内容はもちろん、発表の手際や発表の態度なども審査の対象となります。なお、発表時は予鈴7分、本鈴9分の合図があります。
- ※ 発表に際しては、必ず以下の要領でレジュメを用意しておくこと。レジュメの文字部分は基本的にワープロによって作成のこと。図表等のタイトル・注は同。図表ははさみと糊で切り貼りしても構わない。
- 1. レジュメは、論文題目、氏名、論文の要旨（目的・方法・結果を書く。字数が多くなりすぎないように、計800字程度を目安にするとよい）、説明に使用する図表によって構成する。
- 2. レジュメの枚数は、A3サイズで2枚横書き（図表を含む）とし、各自40部ずつ用意する（自費でコピーのこと）。図表がカラーでないと判別しにくい場合はカラーコピーするか、口頭試験用に図表を白黒で描き直すこと（発表時の図表の不鮮明さが評価を下げる・減点されることもあるので注意）。
- 3. レジュメは、発表者交代の合間に次の発表者が配るものとする。その際、まず教員に配ること。各日の朝一番目の発表者で、責任を持って依頼できる学友がいる人は、前日の最終発表者のレジュメ配布を学友に頼んでも構わない（ただし問題があれば責任は依頼した人にあるので、注意のこと）。
- 4. レジュメの文章をそのまま読むような発表は控えること。口頭試験の発表用原稿を別に用意することが望ましい。
- ※ 発表では、パワーポイントも使用できる。使用するパソコンは原則としてあらかじめ用意されたパソコンを使用すること。発表用ファイルは、午前に発表の者は発表当日の朝、午後に発表のある者は昼休みにパソコンのデスクトップにコピーしておくこと。発表時にUSBメモリー等から起動すると、手間取るケースが多い。自分のPCにケーブルを差し替える場合も同様である。それらの時間も発表時間に含めるので、あらかじめ用意のPCにコピーしておく方法で行うこと。
- ※ 地域調査士の資格取得に向けては審査前事前請求制度があり、3月中に認定証を受け取ることができます。資格取得希望者は、1月末（以降）に日本地理学会資格専門委員会から郵送される書類を熟読し、同封されている申請書に必要な事項をすべて記入のうえ（顔写真も必要）、口頭試験日程期間中に主査へ提出すること。その後、副査が記名・押印し、一括して返却する。この機会をのがすと「地域調査士認定委員会が指名する者の認定」が面倒なことになるので、卒業予定者は必ずこの機会に行うこと。
- ※ 3年生は卒論作成の参考のため、また来年の口頭試験のためにも、出席して複数のセッションを聞くようにすること。1、2年生もできる限り1日以上は出席のこと。2年生にとっては3年以降の専門分野（ゼミ）の選択する上で、もっとも参考になる行事なので、多くの発表を聞くことが自分のためにもなります。

【2024 年度卒業論文公開口頭試験日程】

氏 名	題 目	主査	副査	地調	GIS
2月6日(木) 11:00~12:35 <進行:加藤>					
坂本 彬紘	宇都宮 LRT 敷設による影響と変化	加藤	岡島		○
富田 剛史	SD 法を用いた城郭のイメージの分析ー重要文化財の 6 つの城郭を事例にー	内田	岡島		
芳賀 蓮	千葉県富津岬における海岸林の樹種構成と生育状況ーとくに海岸からの距離と樹形および風速に着目してー	磯谷	小山		○
石井 陸登	神奈川県箱根町とその周辺地域における近年の斜面崩壊発生の要因	佐々木	小山	○	○
降田 朝斗	豪雨による斜面崩壊地の杉植林地との関係についてー福岡県朝倉市把木地区を対象としてー	佐々木	磯谷	○	○
13:30~15:20 <進行:佐々木>					
中島 恵介	秋葉原地区における来訪者の回遊行動特性	加藤	内田		
佐藤 慶弥	大阪コリアタウンにおける商店街の変容とその要因	加藤	岡島		○
奈良 泰河	千葉県の伝統食の地域的特色	内田	岡島		
芳野 尚	大田区におけるコインランドリーの立地とその需要	加藤	磯谷		
土橋 亮太	駅乗降客数の増加と土地利用の転換ーJR 京葉線を事例としてー	加藤	岡島		○
駒形 玲生	観光みやげのイメージとその位置付けー雷おこしと岩おこし・栗おこしを事例にー	内田	磯谷		
15:30~17:20 <進行:磯谷>					
坂井 智奈	秋葉原駅周辺のコンビニエンスストアの商品構成〜トレーディングカードショップに着目して〜	内田	岡島		○
中村 凌	瀬戸内海沿岸地域における凧現象	佐々木	磯谷		
鶴巻 直旺	茨城県土浦市内のバス路線空白地帯における地域住民の交通行動と意識	内田	岡島		○
石井 暖人	東京都立川駅周辺から多摩川河川敷にかけての地域におけるカラス 2 種の分布ーごみ被害にも着目してー	磯谷	佐々木		
田中 祐太郎	インターナショナルスクールの立地と外国人集住化との関係ー横浜市緑区霧が丘地区のインド人集住地を事例にー	加藤	小山		
向井 達哉	江戸川区の土地利用と水害対策の歴史	佐々木	小山		
2月7日(金) 10:00~11:50 <進行:内田>					
林 宏樹	新路線の開業が周辺地域に与える影響ー相鉄・JR 直通線を事例にー	加藤	岡島		
柳 颯斗	横浜市における緊急指定避難所の災害リスクについて	小山	佐々木	○	○
三浦 健一朗	地域イメージにおけるモチーフの地域性 ハイウェイスタンプを事例に	内田	岡島		○
横山 大輝	1990 年~2020 年の北海道地方における蝦夷梅雨の実態	佐々木	小山		○
松本 智志	日本における保存蒸気機関車の現状	加藤	岡島		○
辻本 柚衣	2007 年から 2023 年の日本で発生したダウンバーストにおける地上気象場の解析	佐々木	小山		○

12：55～14：45 <進行：小山>

幡野 司	観光地における二次交通移動手段の選択要因とルートの特徴についてー京都府宮津市天橋立を事例にー	内田	岡島		
坂本 大貴	埼玉県飯能市における中心商店街の変容	加藤	磯谷		
栗田 悠希	二次離島航路における利用特性と航路の特色ー兵庫県南あわじ市沼島の航路を事例としてー	内田	岡島		
大渡 拓磨	横浜市における旧新田地域の地盤特性ー液状化履歴に着目してー	小山	佐々木	○	○
谷島 佑	球磨川における令和2年7月豪雨の浸水と微地形の関係	小山	佐々木	○	○
小山 紗奈	松本盆地南部付近における常緑広葉樹の分布・生態とその要因ーとくにシラカシに着目してー	磯谷	佐々木	○	○

15：00～17：10 <進行：岡島>

澤見 颯太	鉄道による石油輸送の現状	加藤	岡島	○	
平塚 惇也	大宮駅周辺に集積する美容室とその要因	加藤	岡島		
小口 太陽	土砂災害警戒区域内の変遷に伴う土砂災害のリスクの変化ー下田市・河津町・南伊豆町の一部を例にー	小山	磯谷	○	○
木原 証光	日本海沿岸における海岸線の屈曲度に関する地理学的研究	小山	佐々木	○	○
宮原 竣亮	神奈川県湘南地域西部における海陸風に伴う塩の移動	佐々木	磯谷	○	○
小林 大将	栃木県塩原溪谷における山風吹送時の気温変化	佐々木	磯谷	○	
式見 彩夏	東京都立水元公園に生息するカルガモの分布・生態と環境条件	磯谷	小山	○	○

2月8日(土)

10：45～12：00 <進行：佐々木>

福室 雄太	プロサッカーチームの本拠地におけるサッカーを利用したまちづくりーFC町田ゼルビアと町田市の事例ー	内田	磯谷		
阿部 礼佳	距離が進路選択に与える影響ー千葉県の高校生を対象としてー	加藤	内田	○	○
降幡 拓斗	長崎県長崎市における観光地イメージの変化の要因ー観光前後のイメージに着目してー	内田	小山		
藍澤 歆	川越市蔵の街一番街における交通問題の変遷と住民意識の変化	加藤	内田	○	

12：55～14：30 <進行：加藤>

平木 来琉	「Xのツイート」から見る観光地の行事ー東京都台東区浅草地区を事例にー	桐越	内田		
淵脇 啓太	神奈川県横浜市中区野毛町における実態と構造	桐越	小山		
志村 陸	「サッカーのまち」の変容ー埼玉県さいたま市浦和区を事例としてー	桐越	磯谷		
吉田 翔輝	新たにアニメの聖地となった街の観光客の行動 下北沢「ぼっち・ぎ・ろっく！」を事例に	桐越	小山	○	
谷口 優	市民農園利用希望者の農園選択における地理的要件ー練馬区立区民農園を事例としてー	桐越	磯谷		

14：40～16：10 <進行：磯谷>

根本 海翔	地域特産農産物の実態とブランド化ー埼玉県越谷市「越谷ねぎ」を事例にー	桐越	加藤	○	○
上間 玲雄	千葉県市原市における中南米出身者の居住実態ーコミュニティの結節点に着目してー	桐越	佐々木	○	
田邊 知也	神奈川県厚木市における市営住宅の現況ー二つの市営住宅を事例にー	桐越	加藤	○	
上野 裕一郎	音楽イベントが参加者の観光行動と認知に与える影響ー茨城県結城市における「結のおと」を事例にー	桐越	内田	○	
高橋 輝光	群馬県にある温泉地のインターネット動態と立地関係について	桐越	岡島		

注. 地調：地域調査士取得希望者, GIS：GIS 学術士取得希望者

【国士舘大学地理学会費の納入について】

下記に掲げる学生は、国士舘大学地理学会費（4年分・12,000円）が未納となっていますので、至急支払ってください。地理学教室では4年分の会費を納めていない学生については、卒業を認めておりません。いずれ払うこととなりますので、早めに納入することを勧めます。会費未納者は、必ず1月末日までに郵便振替で会費を納入すること。

振替用紙は郵便局にありますので、「口座番号：00150-7-161762，加入者名：国士舘大学地理学会」へ、通信欄に自分の学年・学籍番号・氏名を記入のうえ、12,000円を窓口またはATMで振り込んでください(ATMでの振込のほうが手数料は安くなります)。

とくに、4年生の未納者は、卒論口述試験が行われる前に納入を済ませてください。

(注：疑問・質問等は会計担当の加藤まで連絡して下さい。なお、上記は2024年12月25日時点での未納者です。)

【地理学教室が発信する各種情報のQRコード】

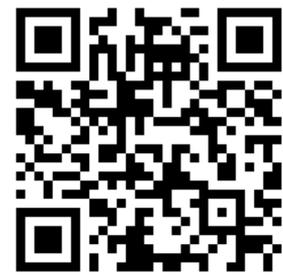
地理学教室ではニューズレターの他に、ホームページ、フェイスブック、インスタグラムでも情報を発信しています。ぜひご覧ください。



ホームページのQRコード



フェイスブックのQRコード



インスタのQRコード